

防災を考える 市民公開講座

来月8日

熊本大と東北大

熊本大と東北大は10月8日、熊本市中央区大江本町の熊大薬学部で、災害の経験を防災に生かす市民公開講座「今、ともに学び考える」を開く。

両大学の博士課程教育プログラムが、これまで蓄積した経験や知識を地域で生かして携しておくと、初めて連携して開催する。

メインの講演会は午後1時から。東北大災害科学国際研究所長の今村文彦教授が「東日本大震災・熊本地震の経験から復興へ」と題して講演。熊大減災型社会システム実践研究教育センターの藤見俊夫准教授は、人間の行動や意思決定のパターンから考える災害対応について話す。

熊本地震が起きたメカニズムや熊本城の被災の歴史、災害医療に関する講演もある。

講演会に先立ち正午から「プレ講座」があり、被災前の熊本城の映像を紹介。東北大が開発した減災カードゲームの体験コーナーなども設ける。

申し込み不要で無料。熊大リーディングプログラム推進チーム ☎096(373)6832。